

A large, stylized green chevron graphic pointing to the right, serving as a background for the text.

ハイパフォーマンスの実現へ

Sharpen Your Career at Accenture

ビジネスが破壊的に変化する時代に生きること

今後のビジネスはいわゆるデジタルだとかテクノロジーだとかというものがですね、非常に牽引していくという風に思っていたきたいという風に思っています。今まで保持できなかったようなデータ量だとかといったものがどんどん保持できるようになってきた。またですね、色々なテクノロジーが変わってきていて、今まで数値化されなかったような情報、それもどンドン数値化されていると。そういったものをですね、どういう風に活用してビジネスを展開していくのか、ということが、やはりお客様が今一番興味を持っていることですし、今後のビジネスの源泉になっていく、という風に考えています。

アクセンチュアやはりですね、我々自体も変化を遂げなくてはいけないという風に考えています。従前ではですね、いわゆる、戦略を立てて、計画を作って、それを実際にインプリメンテーションして展開をしていくという、数珠つなぎのプロセスからですね、色々なものを並行で進めていながら変化にどういう風に追随していくのか、ということが求められている、という風に思っています。幸いにもアクセンチュアはですね、それぞれの部門がありますから、専門家を寄せ集めてですね、その早いビジネス展開、早い改革の展開をしていく、という風に考えています。

どちらかというアクセンチュアの今までの強みがですね、さらに生きていく時代になったかなと。こういうことができる会社はですね、正直そんな多くないと思っているんですね。逆にいうと我々みたいな会社ですね、その社会の要請に応えなかったらですね、日本は落ちていくと。非常に僕たちには責任があるという風に考えています。

今後もやっぱり求められていくのは、一人のスーパーマンではできないんですね。色々な人たちと一緒にコラボレーションしながら価値を出していく、ってことは非常に必要だと思っています。すごく言葉が上手に喋れるとかではないんですけど、気持ちをオープンにさせていただいて、色々な人とコラボレーションしていくことが楽しいと思える、そういった人材がですね、非常に重要なという風に考えています。

アクセンチュアって面白い会社だなと思うのは、これだけそのグローバルに展開していますけど、非常に皆サポーターなんですね。例えば日本では今色々な電力自由化だとかって色々なこうディレギュレーションみたいなことが起こっていますけども、これって日本は遅いんですね。もう数年前にやったよってそういったようなエキスパートも来てくれてですね、ディスカッションして、あっこういう観点で気をつけなくちゃいけないとか、そういったことでもですね、我々非常に強みがありますし、日本のためにもですね、そういった基盤を我々が活かしていくと。

今自信のない人も安心してください。アクセンチュアは育てます。育てる基盤があります。世の中にないことをやっていくのが我々なので、今自信がないのは当たり前です。是非ともアクセンチュアに来てですね、一緒に成長をしていきましょう。宜しくお願いします。